

令和2年5月11日(月)

生徒指導通信 No.3

先週の『図書券・書類配布』はどうでしたか。久しぶりの登校で、しかも、ドライブスルー方式の短い滞在時間でした。けれども、みなさんが元気に登校してくる姿をみてほっとしました。

4. 1冊・・・さて、何の数字でしょう。

全国の中学生の1ヵ月に読む本の(マンガを除く)平均冊数です。皆さんは、この休校期間中、何冊本を読んだでしょうか。量を重視するもよし、質を重視することも良いでしょう。自分の心に『なぜ』を生み出してくれるような本に出会えると、素敵ですね。

『新聞より雑誌のほうがいい。街中より海岸のほうが場所としていい。最初は歩くより走るほうがいい。何度もトライしなくてはならないだろう。ちょっとしたコツがあるが、つかむのはやさしい。小さな子どもでも楽しめる。一度成功すると面倒は少ない。鳥が近づきすぎることは、めったにない。ただ、雨の日は難しい。大人数でこれを一齐にやると面倒なことが起きやすい。ひとつにつきかなりのスペースが必要である。面倒がなければ、のどかのものである。ゆるんでものがとれてしまうと、それで終わりである。』

ちょっとしたナゾナゾを紹介しました。何について話しているか、わかりましたか。この文章自体は、ナゾナゾではなく、【『わかつたつもり』読解力がつかない本当の原因】という本の一部です。一度、何について話しているか、考えてみてください。おうちの方と話し合うのも良いかもしれません。次回に答えを発表します。どうしても知りたい人は、本を手に入れて読んでみてください、一読の価値があると思います。

今週も登校日があります、皆さんの元気な姿に会えることを心待ちにしています。

《みなさん気づきましたか?》



『離れていても心はひとつ』 岐阜新聞